

2025年12月期

決算説明会資料

2026年2月20日

セグエグループ株式会社

証券コード：3968

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

目次

1. 2025年12月期 業績ハイライト
2. 2026年業績予想と長期ビジョン
3. 参考資料

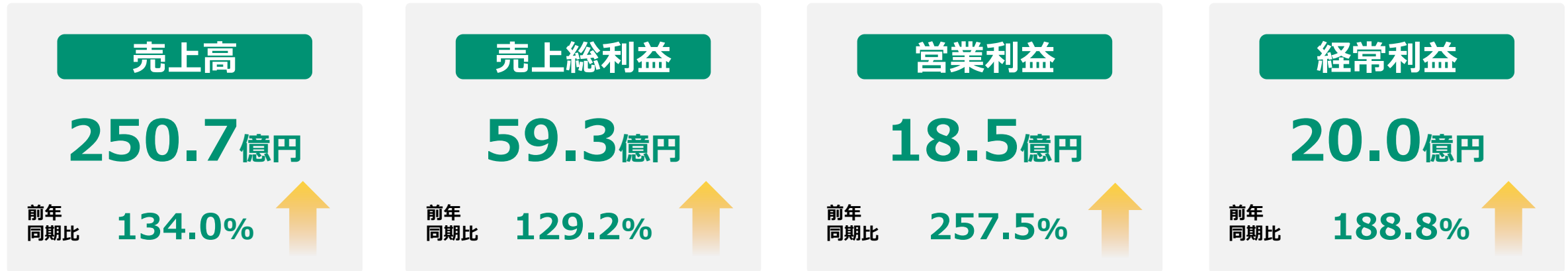


1

2025年12月期 業績ハイライト

ハイライト：業績概況

売上高および各段階利益項目において過去最高値を大幅に更新！
超大型の政府系案件(GSS案件)の売上計上により業績が大幅伸長
対前年比営業利益は約2.6倍・経常利益は約1.9倍

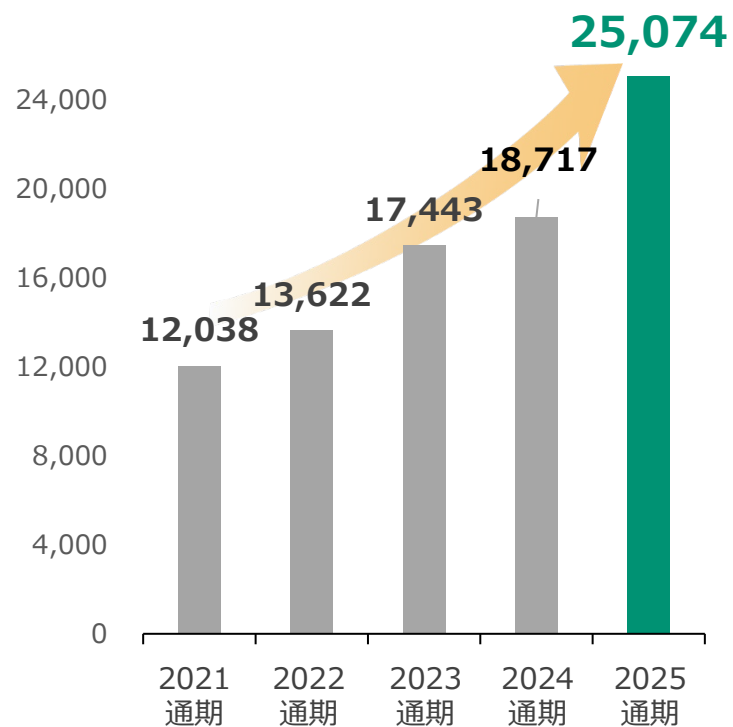


業績 概要

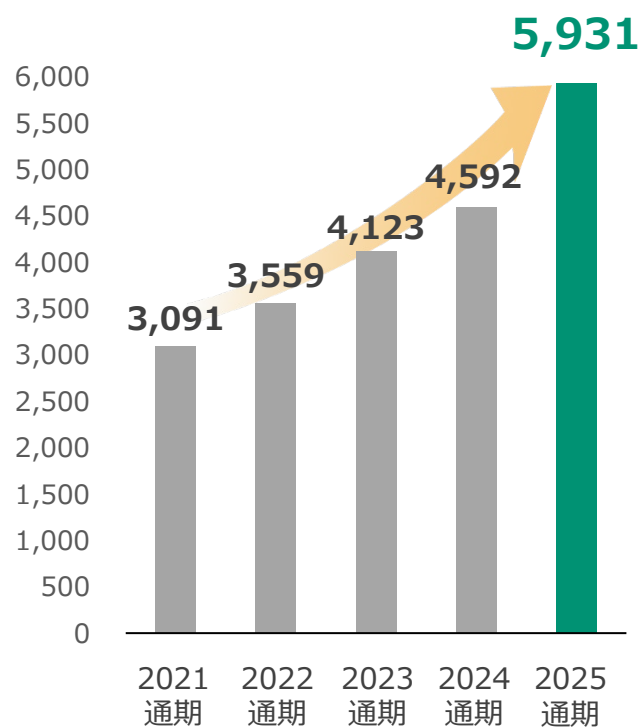
- 売上高： GSS案件や他大型案件の受注によってVADビジネスを中心に好調に推移
- 売上総利益： 売上高の大幅伸長により増益
- 営業利益： 売上総利益の大幅な増加に加え販管費の最適化を主な要因とし過去最高益に
- 経常利益： 営業利益の大幅な増加に加え、保有する投資有価証券の売却等により過去最高益に

国策のGSS案件及び複数の大型案件が売上計上されたことにより、通期をととして業績が大きく進捗し
売上高、売上総利益、営業利益、全て過去最高値を更新

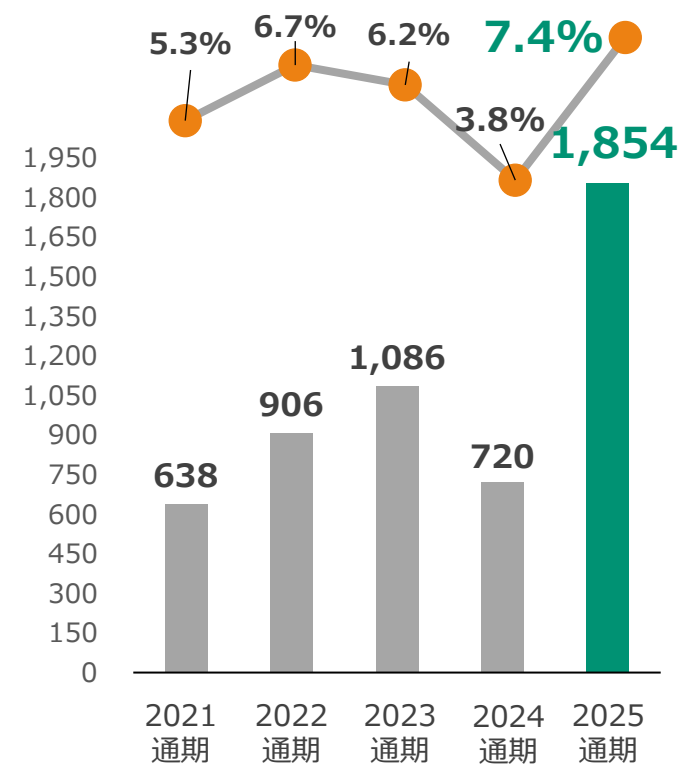
売上高（百万円）



売上総利益（百万円）



営業利益（百万円）
営業利益率（%）



受注の状況

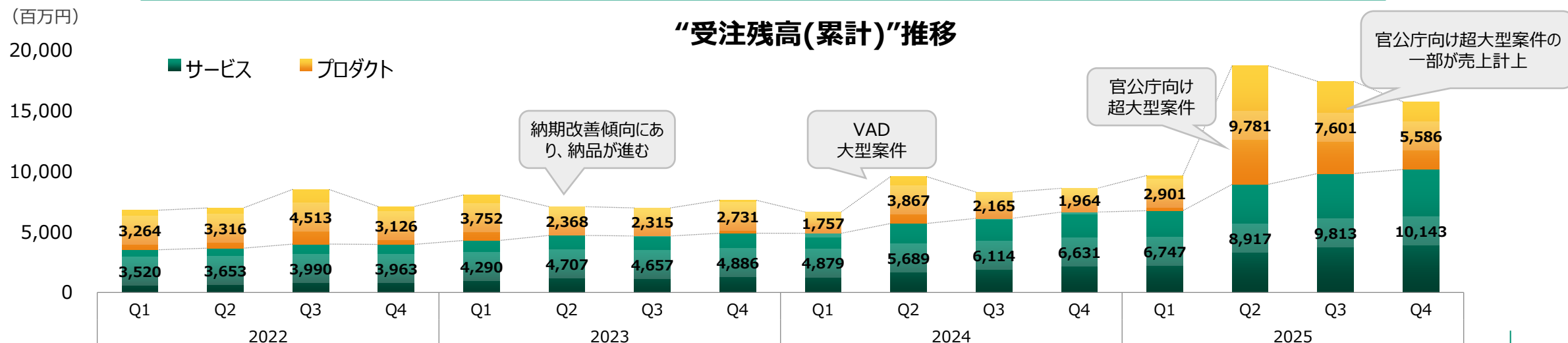
社会的なDX、セキュリティニーズの高まりに加え、GSS案件の受注により
年間通期受注額は324億円(164%)、受注残高157億円(183%)ともに前年同期比大幅増となる
受注残高は来期以降の業績に寄与する見通しであり、将来の収益拡大に向けた基盤となる

“受注高(累計)”推移

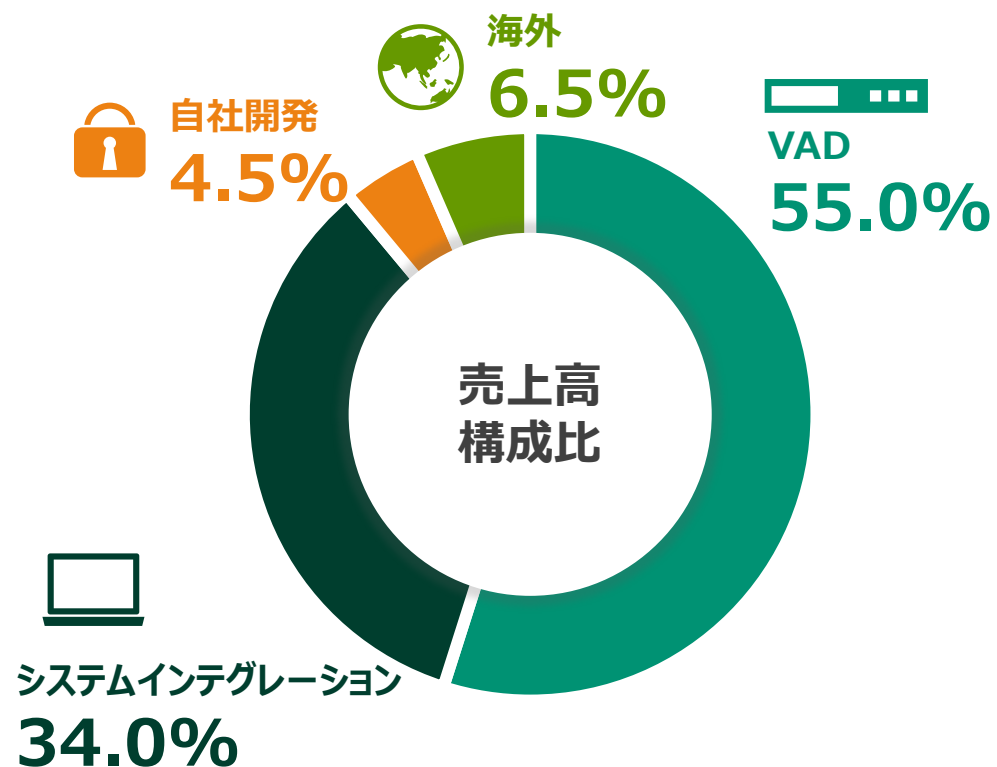
単位：百万円

	2022.通期	2023.通期	2024.通期	2025.通期	前年同期比
プロダクト	8,620	10,361	10,233	20,255	197.9%
サービス	5,652	7,608	9,463	12,111	128.0%
合計	14,272	17,970	19,696	32,367	164.3%

“受注残高(累計)”推移



VADはGSS案件及び複数の大型案件の売上計上により大幅増収し業績をけん引
 システムインテグレーションは大型案件獲得が寄与したものの、他の一部大型案件が利益率押し下げの要因に
 自社開発はストック型売上のRevoWorksクラウドやセグエセキュリティのサービスが着実に伸長し
 売上高は堅調に推移したが、一部案件の売上計上が来期となったため軟調基調
 海外はFirst One Systemsが加わり、売上高・売上総利益ともに増加



VAD ビジネス	売上高 137.66億円 +43.8%	売上総利益 33.86億円 +53.5%
システム インテグレーション ビジネス	売上高 85.37億円 +21.9%	売上総利益 14.79億円 +2.2%
自社開発 ビジネス	売上高 11.35億円 +4.7%	売上総利益 5.80億円 ▲2.8%
海外 ビジネス	売上高 16.34億円 +55.3%	売上総利益 4.84億円 +42.0%

※パーセンテージは前年同期比増減率

■ VADビジネス

- ✓ GSS案件をQ2に受注、Q3より本格的に売上への計上を開始
- ✓ サイバーセキュリティ需要により、中央省庁を中心に高度なセキュリティ商材の受注が好調に推移
- ✓ スtock型収益となる保守サービスは堅調に推移するとともに収益性も改善

■ システムインテグレーションビジネス

- ✓ サービス業の大型案件獲得が寄与し売上高増加、他の一部大型案件が利益率押し下げの要因に
- ✓ 技術を中心とした人件費増により利益が軟調となった

■ 自社開発ビジネス

- ✓ 地方自治体や医療機関向けの諸案件を着実に獲得した他、RevoWorksクラウドは、大手金融機関向けの提供が寄与
- ✓ 来期以降に向けた政府系案件及び新製品RevoWorks シリーズの受注拡大に注力
- ✓ 秘密分散技術を搭載したRevoWorks ZENMU-Storageを発表
- ✓ セグエセキュリティはAIを活用した新サービスの開発に注力

■ 海外ビジネス

- ✓ First One Systemsが連結対象として加わり通期フル寄与し、前期比増収増益
- ✓ ISS Resolutionにおいて新規事業の立ち上がりが遅れ、1.1億円ののれんの減損を期末に計上

連結損益計算書

業績は好調に推移し上方修正を2回実施
 売上高及び各段階利益は大幅に増加し過去最高値を更新！
 上半期受注のGSS案件は、2026年度以降も引き続き業績に寄与

単位：百万円

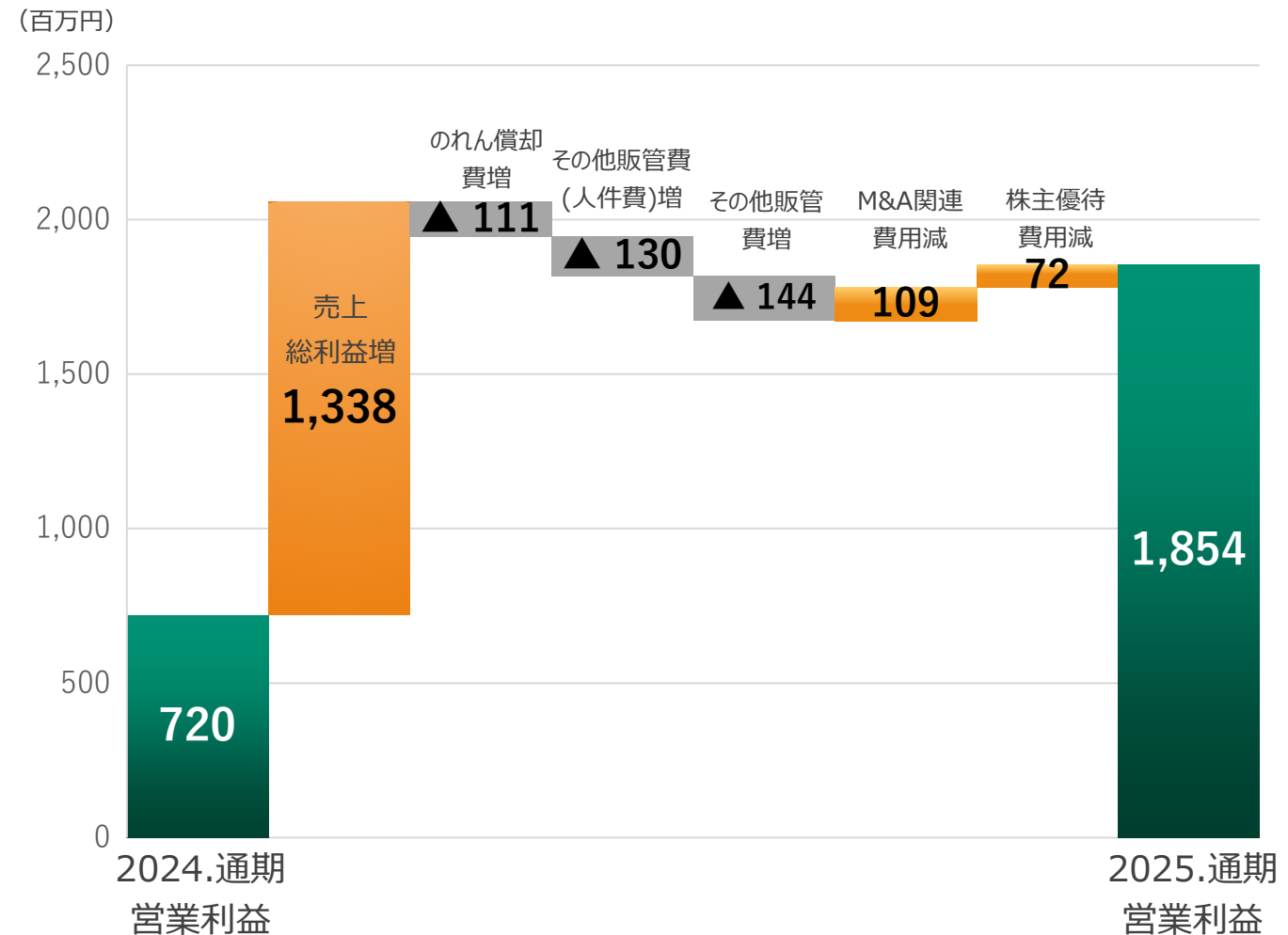
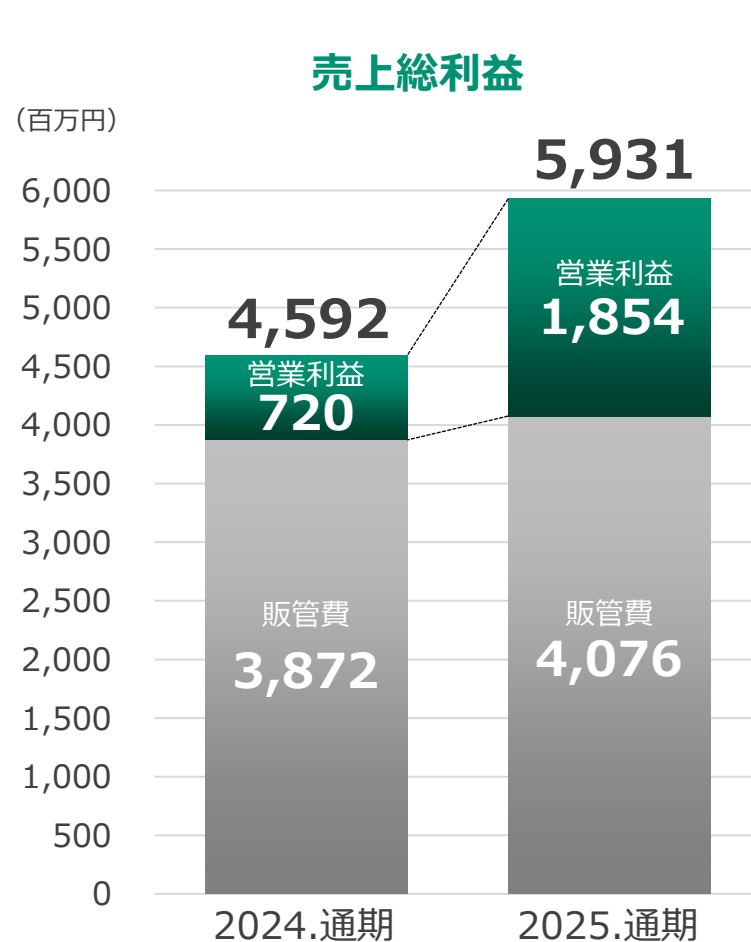
	2024.12 通期	2025.12 通期	前期比		通期予想※ (上方修正後)	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	18,717	25,074	+6,356	+34.0%	25,070	100.0%
売上総利益	4,592	5,931	+1,338	+29.2%		
(利益率)	24.5%	23.7%	▲0.8pt			
販売費及び 一般管理費	3,872	4,076	+204	+5.3%		
営業利益	720	1,854	+1,134	+157.5%	1,880	98.6%
(利益率)	3.8%	7.4%	+3.6pt		7.5%	
経常利益	1,060	2,001	+941	+88.8%	2,030	98.6%
(利益率)	5.7%	8.0%	+2.3pt		8.1%	
純利益※	507	1,191	+683	+134.6%	1,170	101.8%
EBITDA※	1,026	2,300	+1,274	+124.2%		

※2026年1月23日付「2025 年 12 月期の連結業績予想の修正(上方修正)および中期経営計画(2026 年 12 月期)の数値目標変更(上方修正)に関するお知らせ」にて開示

※親会社株主に帰属する当期純利益 ※EBITDAは「営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費」にて算出

営業利益増減内訳

超大型(GSS)案件獲得の他、売上高の大幅増加により売上総利益が大幅に増加
結果、営業利益が大きく増加（前年同期比257%）



連結貸借対照表

将来の売上となる前受金が大幅に増加

GSS案件及び複数の大型案件を上半期に受注したことを主な要因として

棚卸資産、売掛金及び買掛金、短期借入金が増加

単位：百万円

	2024.12 期末	2025.12 期末	増減額
流動資産	10,795	15,579	4,783
現金・預金	3,909	2,382	▲1,527
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	3,094	5,501	2,406
棚卸資産	1,687	3,909	2,221
その他	2,104	3,787	1,683
固定資産	2,837	3,067	230
有形固定資産	377	432	54
無形固定資産	1,575	1,345	▲229
投資その他資産	884	1,289	404
資産合計	13,633	18,647	5,014

	2024.12 期末	2025.12 期末	増減額
流動負債	8,312	12,789	4,476
買掛金	1,410	1,368	▲42
短期借入金等	632	3,029	2,397
前受金	4,873	6,759	1,886
その他	1,396	1,631	234
固定負債	2,127	1,457	▲669
長期借入金	1,652	925	▲727
その他	474	531	57
負債合計	10,440	14,246	3,806
純資産合計	3,193	4,400	1,207
負債純資産合計	13,633	18,647	5,014

当社株式の流動性を向上させるとともに、超大型案件およびM&Aへの対応力の向上を図るため、新株式の発行及び売出しの実施を決定。

公募増資の概要

[決議日： 2026年1月23日]

1. 新株式発行数

公募： 4,600,000 株
第三者割当： 上限783,700株（※）

2. 調達金額

公募： 約22.7億円
第三者割当： 上限約3.8億円（※）

※第三者割当の株数及び金額は、主幹事会社から申し込みがあった場合の上限

（注）詳細は一連の当社開示資料をご参照ください。

継続的な成長により企業価値の増大を図るとともに、株主還元にも十分に配慮

基本方針

当社は、内部留保の充実を図り、事業の効率化と事業拡大のための投資を積極的に行っていく一方、株主への利益還元を重要な経営課題であると認識しております。

配当につきましては、連結業績、財政状態の健全性、将来の事業展開のための内部留保の水準等を総合的に勘案しながら、中間配当及び期末配当の年2回、2026年12月期までを目安として当面の間、配当性向50%程度を基準とし、継続的かつ安定的に行うことを基本方針としております。



- ◆ 機動的な自社株買い
- ◆ 保有株数に応じた魅力ある株主優待制度の継続

新たな株主優待制度について（「セグエグループ・プレミアム優待倶楽部」）

株式流動性のさらなる向上および保有株式数に見合った株主優待制度の実現、ならびに株主様との中長期的な関係構築の観点から、株主優待制度の見直しを実施。
次期中計最終年度の2029年12月期まで（４年間）は、変更もしくは廃止は行わない予定。

■株主優待ポイント表(1 ポイント≒1 円)

保有株式数	進呈ポイント数	進呈時期(2027 年以降)
1,000～1,999 株	5,000 ポイント	毎年 3 月ごろ
2,000～2,999 株	20,000 ポイント	
3,000～3,999 株	30,000 ポイント	
4,000～4,999 株	50,000 ポイント	
5,000 株以上	60,000 ポイント	

株主優待ポイントは、今後開設する当社株主様限定の特設ウェブサイト「セグエグループ・プレミアム優待倶楽部」において、お米やブランド牛などのこだわりグルメ、スイーツや飲料類、銘酒、電化製品、選べる体験ギフトの他Amazonギフトカード等の一部電子ギフト等 5,000 種類以上の商品からお選びいただけます。社会貢献活動への寄付も選択できます。また、他のプレミアム優待倶楽部導入企業の株主優待ポイントと合算可能な共有株主優待コイン「WILLsCoin」にも交換できます。「WILLsCoin」は「プレミアム優待倶楽部 PORTAL」(<https://portal.premium-yutaiclub.jp/>) にて、宿泊チケットや高級ワイン等のより幅広いラインナップの優待品との交換や、ふるさと納税にもご利用いただけます。

【進呈条件】2026年12月末以降、毎年12月末日の当社株主名簿に記録または記載された 1,000株以上保有の株主様として記載または記録されること。

(注)「セグエグループ・プレミアム優待倶楽部」においては、有効期間（１年間）を超えての株主優待ポイントの繰り越しはありませんので、ご注意ください。

なお、2026年3月下旬にお送りする2025年12月末を基準日とする株主優待内容については、2025年11月27日付 [当社開示](#) をご参照ください。

2

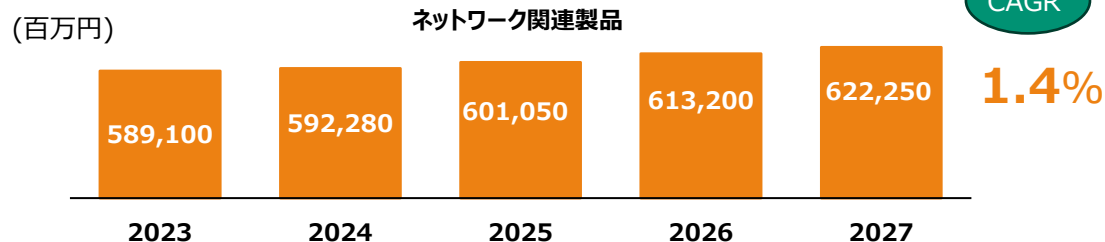
2026年業績予想と長期ビジョン

市場規模および政府系案件（官公需）でのビジネスチャンス

ネットワーク市場

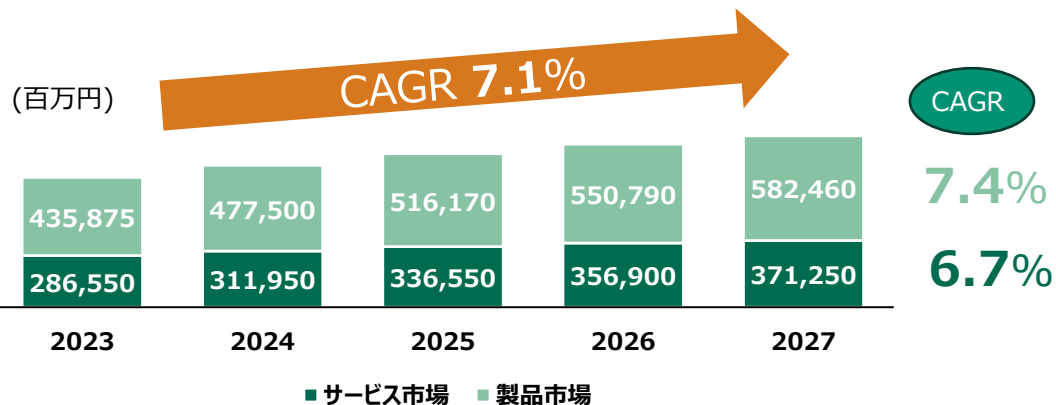
- ネットワーク関連製品市場において企業の出社回帰が進んだことを受け、ネットワーク更改に伴う機器の入れ替え/新規導入が成長をけん引

- CAGRは微増のため、大手企業の参入は限定的



セキュリティ市場

- サイバー攻撃の増加や巧妙化に伴い、サイバーセキュリティ対策も拡大
- 国内セキュリティ市場は、2023-2027年の年平均成長率は（CAGR）が7.1%になると予測



各省庁のサイバーセキュリティ予算

- 様々な分野・組織で情報システムの利用が拡大。サプライチェーンの多様化、複雑化が進展。生成AIなどの新たな技術等も普及
- 一方でこれに伴って、サイバー攻撃の侵入口の増加、セキュリティ対策の不備等によるシステム障害・情報漏洩のリスクの高まり

府省庁	項目	令和8年度 予算額 (億円)
防衛省	サイバー領域における能力強化	2,493
経済産業省	産業サイバーセキュリティ強靱化事業	28
	サイバーセキュリティ経済基盤構築事業	23
警察庁	サイバー空間の脅威への対処	65
総務省	人材育成などサイバーセキュリティ対策の推進	52

1 VADビジネス



ITインフラプロダクト



セキュリティプロダクト

- ガバメントソリューションサービス(GSS)
- デジタル庁仕様
各府省庁へ展開
- 同仕様を都道府県等
自治体へ展開

- GIGA SCHOOL
- NEXT GIGA
- 各自治体の教育委員会、学校法人へ展開

- モバイルキャリア等通信事業者
- データセンター
- サービス提供用
- ITインフラ

- デジタルトランスフォーメーション(DX)
- WiFiソリューション
- 民需等

- 高市政権主要政策
- デジタルサイバーセキュリティ
- 政府機関（府省庁）自治体
- 金融機関・医療機関へ展開

2 自社開発

RevoWorksシリーズ

RevoWorks ZONE

RevoWorks Cloud

RevoWorks ZENMU-Storage

RevoWorks SCVX

RevoWorks Browser



セキュリティプロダクト

- 高市政権主要政策
- サイバーセキュリティ
- 政府機関（府省庁）
- 自治体

3 サイバーセキュリティ

セキュリティ監視・運用
セキュリティオペレーション
センター（SOC）による監視、
脅威ハンティングなどの
マネージドサービス。
セキュリティコンサルティング



セキュリティコンサルサービス

● 重要インフラ14分野

電気・ガス・石油・水道・鉄道・貨物
自動車運送・外航貨物・港湾運
送・航空・空港・電気通信・放送・
郵便・金融（クレジットカード含む）
他 医療機関、研究機関、製造業
等

4 M&A、資本業務提携



- AI、セキュリティ技術
保有会社
- 協業の図れるIT系
ベンチャー企業へ出資
- エンジニアサービス企業等

2026年12月期の事業環境

VAD	◆ITインフラプロダクト ➢ デジタル庁仕様の府省庁GSS案件を中心に超大型案件の期首受注残が当期に売上計上 - また他の大型案件数件の受注も見込まれ引き続き好調 ➢ NEXTGIGAによるエッジインフラ製品の販売進捗が見込まれる ◆セキュリティプロダクト ➢ 高市内閣の主要政策であるデジタルサイバーセキュリティ対策のプロダクトは府省庁向けに好調 ➢ 戦略パートナーとの連携による案件の大型化
SI	➢ 直販大型案件の継続獲得 ➢ ITインフラシステム DX開発、AI開発分野は成長分野であるが競合が激化 - 新規事業の体制準備、開発等将来への仕込みが必要 ➢ 稼働率管理の徹底による利益率の向上 ➢ AIの活用による高付加価値化と効率化の実現
自社開発	➢ 強固なセキュリティ対策ソリューションとしてRevoworksシリーズが府省庁、自治体、金融機関向けに堅調に推移 ➢ RevoWorks ZONE等新製品の拡販が本格化 ➢ セグエセキュリティのSOC/MSSの売上が拡大し収益向上、今後大きな成長へ
海外	➢ ICT市場全体で10%超の成長率（2026年⇒2031年） ➢ FOS主力の大学、交通インフラ、医療機関におけるIT投資は今後も拡大傾向 ➢ 現地体制の最適化を検討



2026年12月期 通期業績予想

現中期経営計画の2026年12月期の目標の数値を上方修正※1

当初のチャレンジ目標の数値を超過する利益水準を予想

単位：百万円

	通期	予想	増減額	増減率
売上高	25,074	30,000	+4,926	+19.6%
営業利益	1,854	2,300	+446	+24.0%
(利益率)	7.4%	7.7%		
経常利益	2,001	2,299	+298	+14.8%
(利益率)	8.0%	7.7%		
純利益※2	1,191	1,403	+212	+17.8%
配当金（円）				
中間	6	9		
期末	7	9		
通期	13	18		
配当性向	35.1%	47.2%		

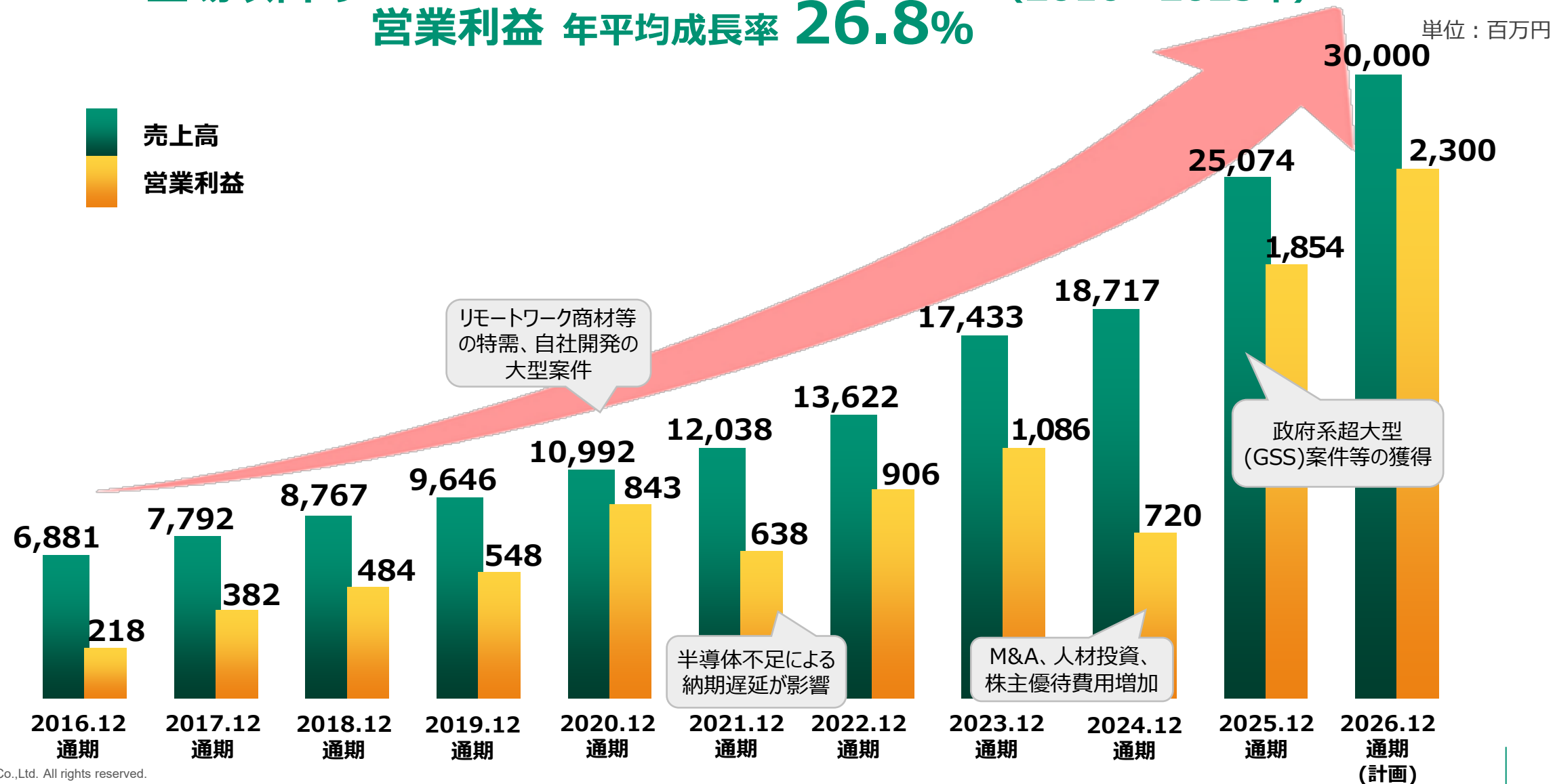
+5円の増配

※1: 2026年1月23日付「2025 年 12 月期の連結業績予想の修正(上方修正)および中期経営計画(2026 年 12 月期)の数値目標変更(上方修正)に関するお知らせ」にて開示

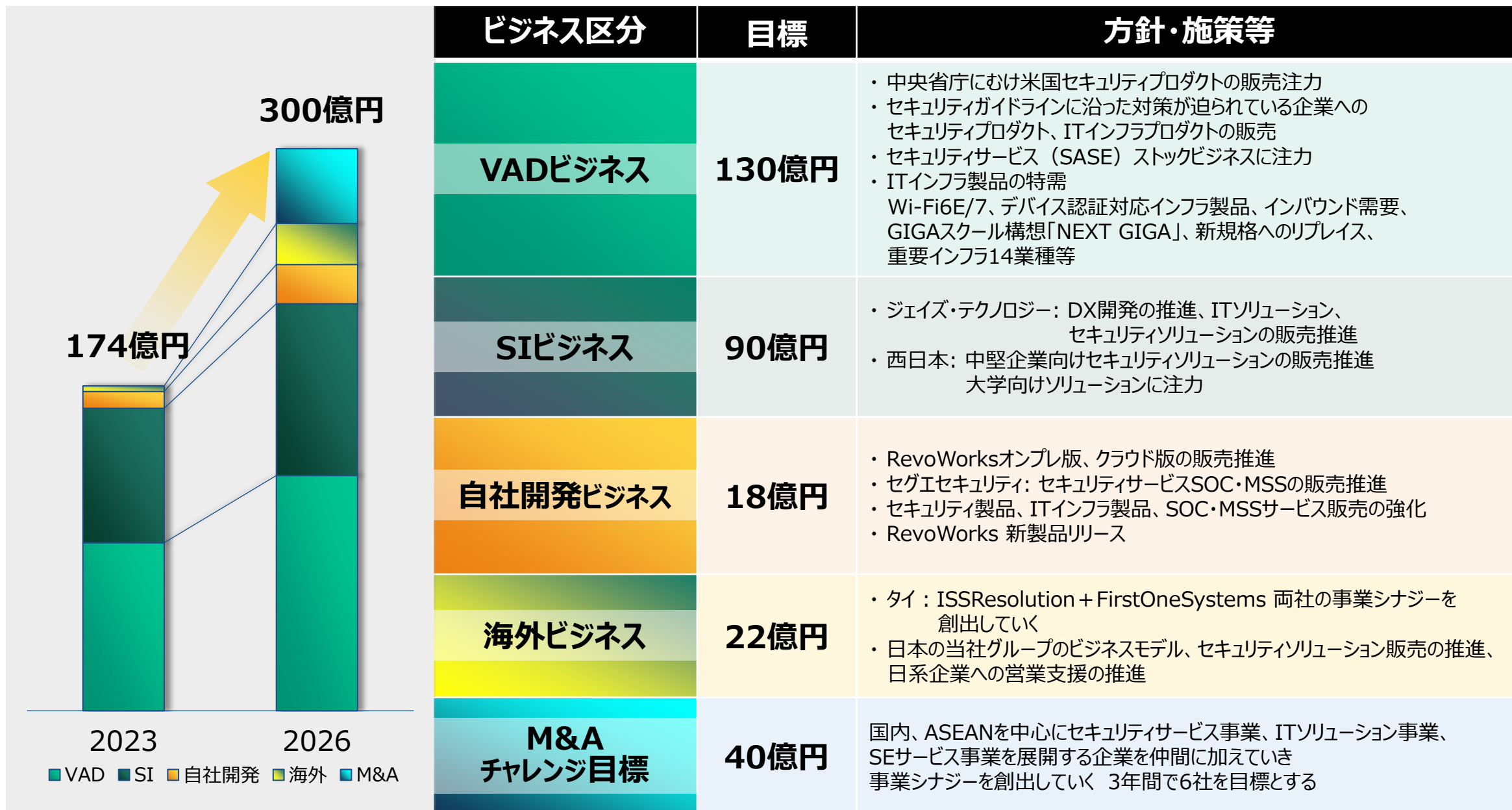
※2: 親会社株主に帰属する当期純利益

— 着実に成長するセグエグループ

上場以降の 売上高 年平均成長率 **15.5%**
営業利益 年平均成長率 **26.8%** (2016~2025年)



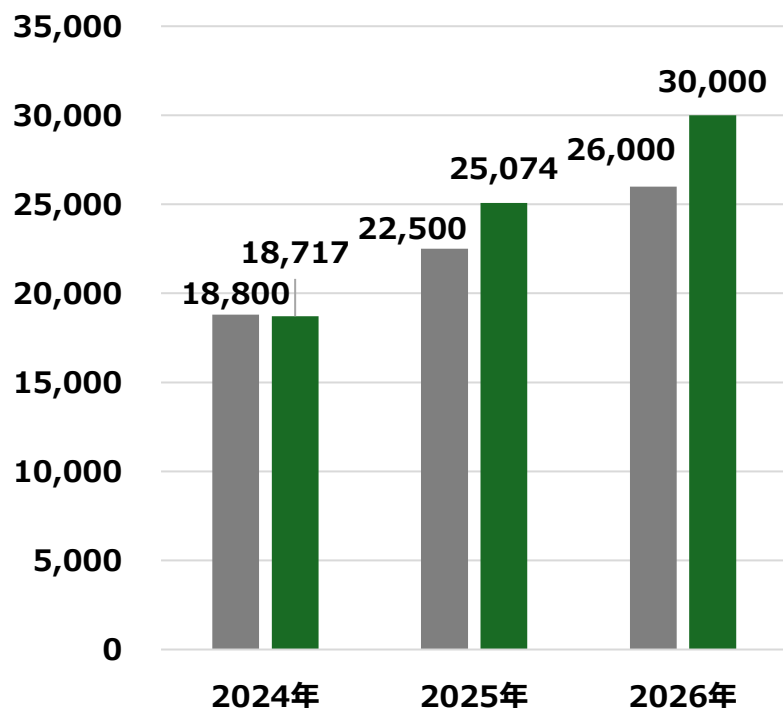
Segue300 ビジネス別売上高



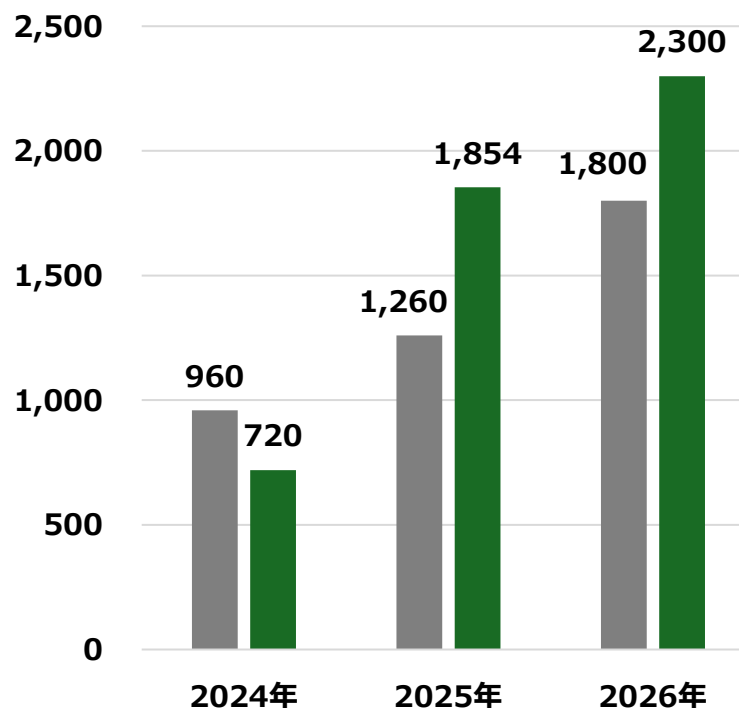
中期経営計画の目標値を超過する事業成長を実現！

単位：百万円

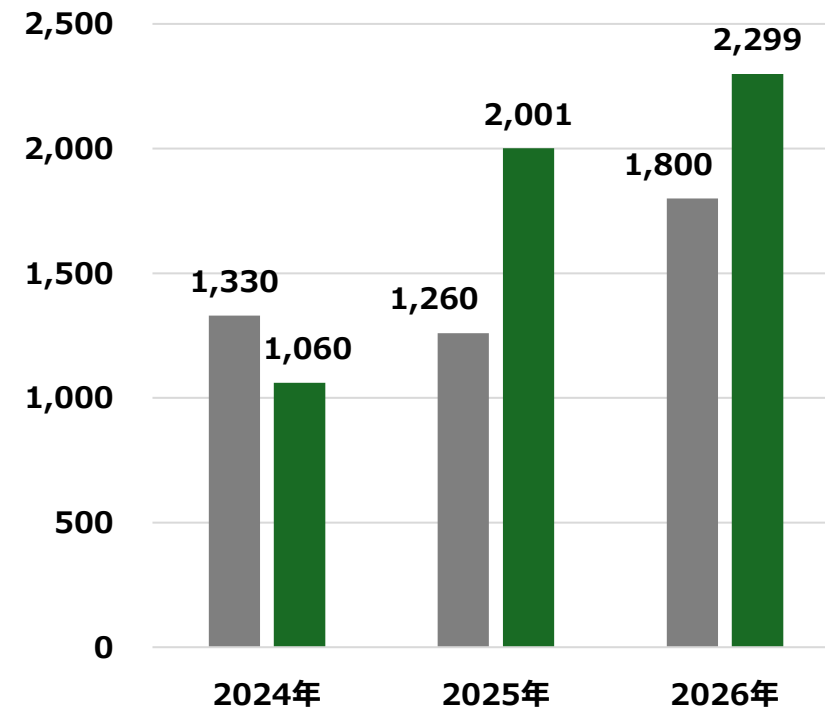
売上高



営業利益



経常利益



■ 中計数値
■ 実績値（2026年は予想値）

長期ビジョン : Segue Vision 2030に向けて

2030年 Segueグループの目指す姿

→ セキュリティ分野での多様な機能を提供する唯一無二の存在

トータルセキュリティソリューション事業 Total Security Solution

海外と
アライアンス
セキュリティ
プロダクトの拡充

製品
&
サービス拡充
RevoWorks
セキュリティサービス
(SOC等)

ITインフラ
×
セキュリティ
DX、生成AI開発
ITエンジニアの増強

セキュリティ
技術の増強
専門的技術集団
(数と質の向上)

さらに高度人材・技術者増員、組織力強化、資本増強 → ビジネス成長の加速

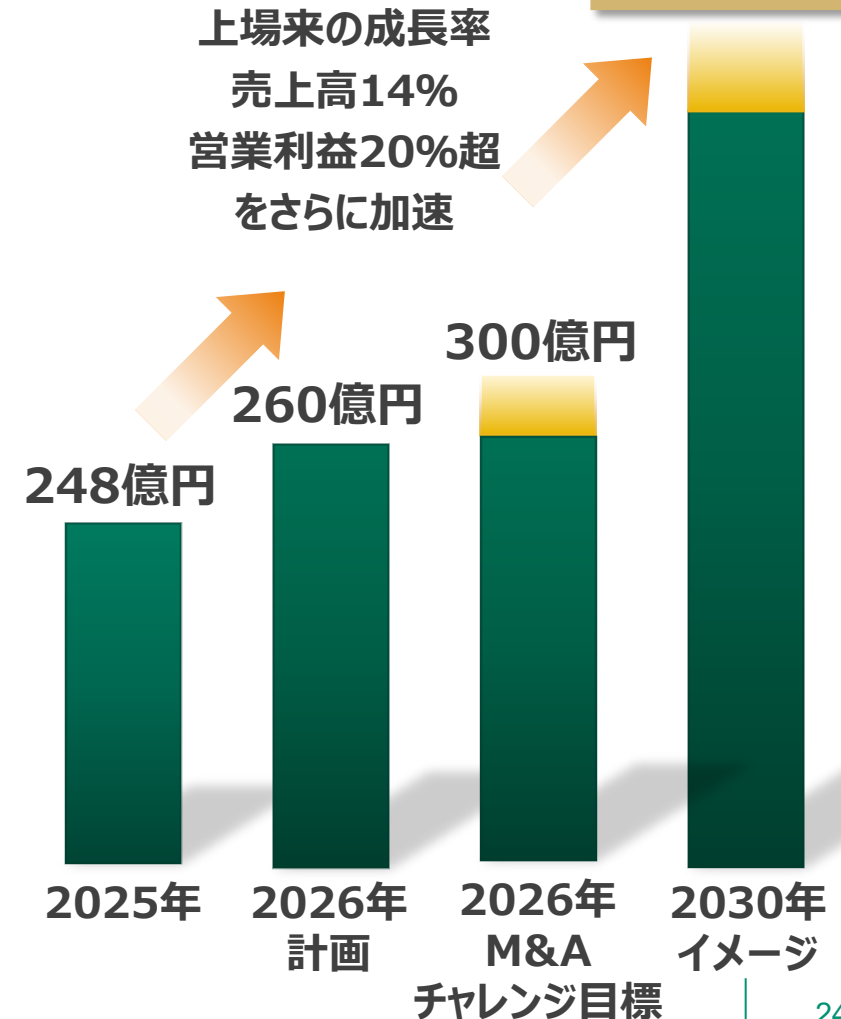
VADビジネス

自社開発
プロダクト&サービス

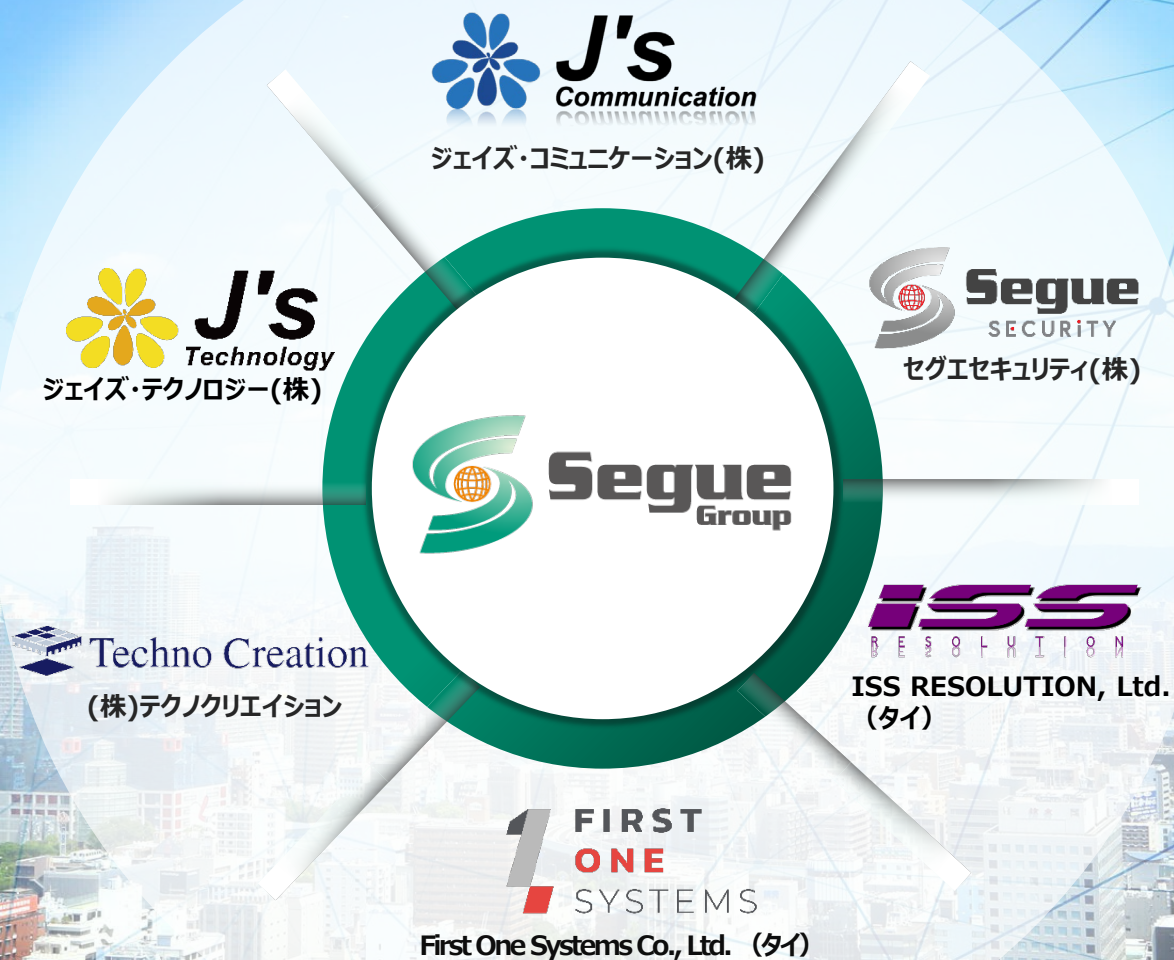
SIビジネス
インテグレーション

事業基盤(2024年末時点)

資本5.2億円 | 売上174億円 | 純資産34億円 | スtock型売上45億円
顧客・パートナー基盤、海外メーカーとのアライアンス、500名近くのIT技術者



IT技術を駆使して価値を創造し、お客様とともに成長を続け、
豊かな社会の実現に貢献します。





3

參考資料

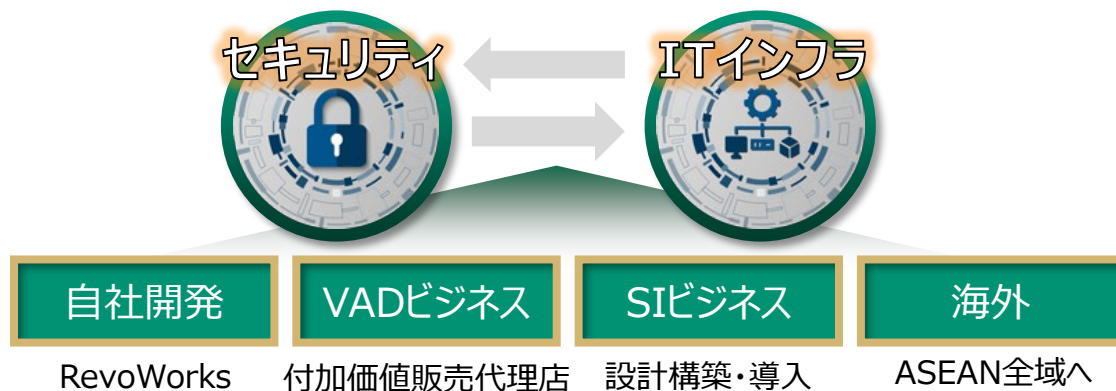
セグエグループ 会社概要



会 社 名	セグエグループ株式会社
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3968）
所 在 地	東京都中央区新川 1 - 16 - 3 住友不動産茅場町ビル
創 業	1995年 4 月14日
設 立	2014年12月 1 日
資 本 金	5 億2,862万円
代 表 者	代表取締役社長 愛須 康之
事 業 内 容	セキュリティ・ITインフラの製品・システムに係る設計、開発、輸入販売、構築、運用、保守サービス
グ ル ー プ 会 社	6 社
従 業 員 数	714名（連結）※2025年12月末時点

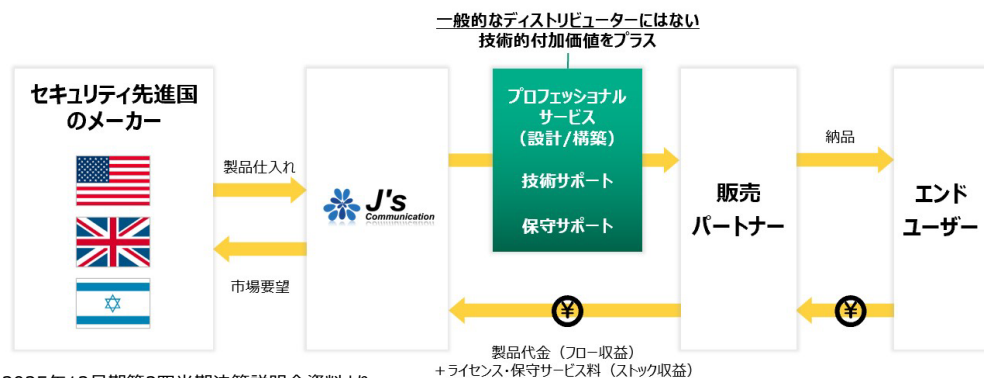
事業カテゴリー

- ITインフラ及びセキュリティ製品に係る設計、開発、販売、構築、運用、保守サービスや、セキュリティ調査・診断、サイバー攻撃の監視分析、インシデント対応などのセキュリティサービスを提供する「ITソリューション事業」を展開



VADビジネス

VAD (Value Added Distributor) : 付加価値販売代理店
世界的に使用されている海外メーカーの製品・ソフトウェアを輸入し、
技術的付加価値をプラスして国内のお客様へ提供



※当社2025年12月期第2四半期決算説明会資料より

© Segue Group Co.,Ltd. All rights reserved.

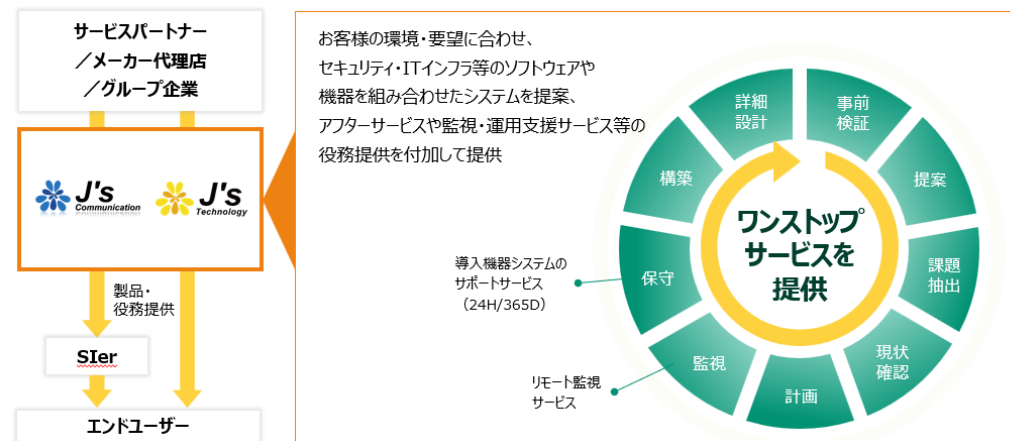
自社開発

政府、自治体等セキュリティ課題解決のプロダクト、サービスを提供



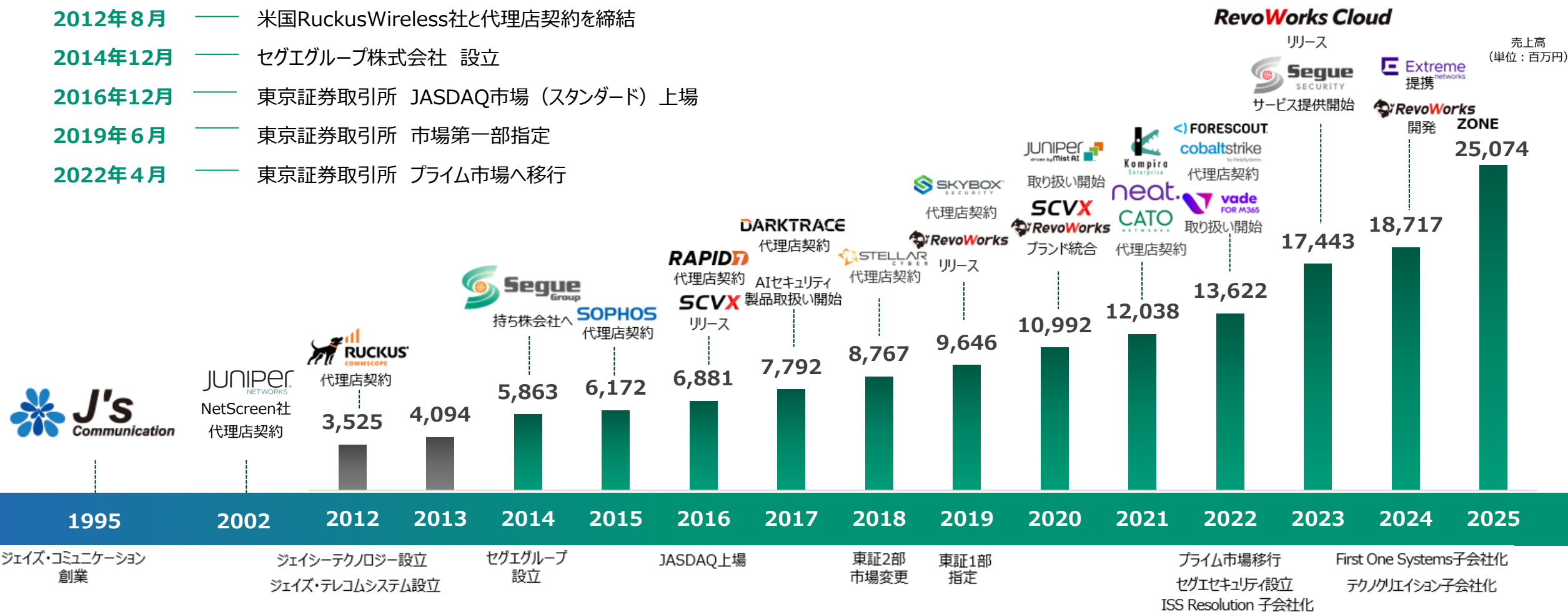
システムインテグレーション (SI) ビジネス

セキュリティやITインフラでお客様が抱える課題に対し、最適なシステムを提案し、
導入、運用サポートまでワンストップのソリューションを提供



セグエグループの歩み・・・競争力のある製品とともに継続した成長を実現

- 1995年4月 ——— ジェイズ・コミュニケーション株式会社 設立（創業）
- 2002年10月 ——— 米国NetScreenTechnologies社 ファイヤーウォール製品（現：JuniperNetworks社）代理店契約を締結
- 2012年8月 ——— 米国RuckusWireless社と代理店契約を締結
- 2014年12月 ——— セグエグループ株式会社 設立
- 2016年12月 ——— 東京証券取引所 JASDAQ市場（スタンダード）上場
- 2019年6月 ——— 東京証券取引所 市場第一部指定
- 2022年4月 ——— 東京証券取引所 プライム市場へ移行



セグエグループの競争優位性

1

テクノロジーオリエントド

専門性の高い海外セキュリティ製品やネットワーク・ITインフラ製品の技術に加え、オープンソース、クラウド、AI技術も。全社員の7割以上がエンジニア

 **セキュリティ技術**

 **ITインフラ技術**

 **ソフトウェア開発**

2

ストック収益基盤を築くことができるビジネスモデル

VADを中心にパートナー・顧客と培ったリレーションと積み重ねたサポート契約等で安定的に収益UP

製品・システムの販売と共に
毎年契約が積み上がります

		3年目S/Wライセンス
		3年目保守
	2年目S/Wライセンス	2年目S/Wライセンス
	2年目保守	2年目保守
初年度S/Wライセンス	初年度S/Wライセンス	初年度S/Wライセンス
初年度保守	初年度保守	初年度保守
ハードウェア	ハードウェア	ハードウェア

3

グローバルメーカーとのアライアンス

HPE Juniper networking

RUCKUS[®]
COMMSCOPE

RAPID7

DARKTRACE

SOPHOS

FORTRA

Extreme networks



4

取引先（販売先）

- | | | | |
|-----------|--------------|------------------|----------------|
| ● リコー | ● NTT データ | ● 伊藤忠テクノソリューションズ | ● アルテリアネットワークス |
| ● 日立製作所 | ● NTT Docomo | ● 富士ソフト | ● SBエンジニアリング |
| ● キヤノンMJ | ● NTT 東日本 | ● 富士電機 | ● IJグローバル |
| ● 日本HP | ● NTT 西日本 | ● 双日テックイノベーション | ● 愛媛CATV |
| ● 日本電気 | ● KDDI | ● ダイワボウ情報システム | ● 大塚商会 |
| ● 野村総合研究所 | ● SoftBank | ● インテック | ● 富士ソフト etc... |

5

M&A 資本業務提携

ビジネス成長を加速させるためM&A強化

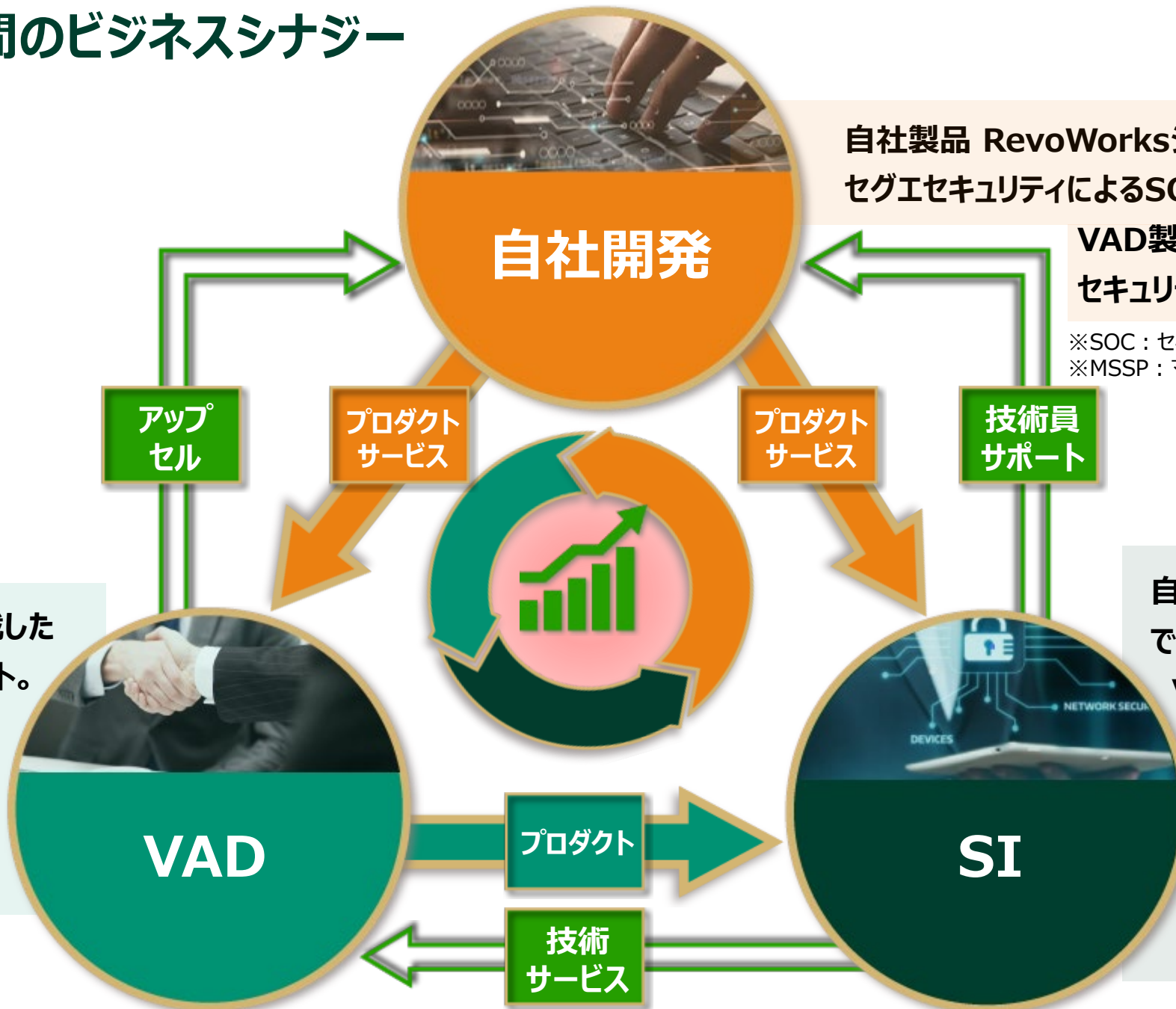
- ✓ **IT関連サービス会社の事業の譲受**
M&A十数社を超える実績
- ✓ **資本業務提携**
3社の出資先上場、1社バイアウト

事業分野間のビジネスシナジー



BUSINESS
SYNERGY

海外の先端技術を搭載した製品を輸入販売サポート。自社開発とVAD商材を合わせたパッケージ販売展開による差別化を実現。



自社製品 RevoWorksシリーズの展開の他、セグエセキュリティによるSOC、MSSPサービスによりVAD製品を差別化するためのセキュリティ運用サービス等も展開。

※SOC：セキュリティ・オペレーション・センター
※MSSP：マネージド・セキュリティ・サービス・プロバイダー

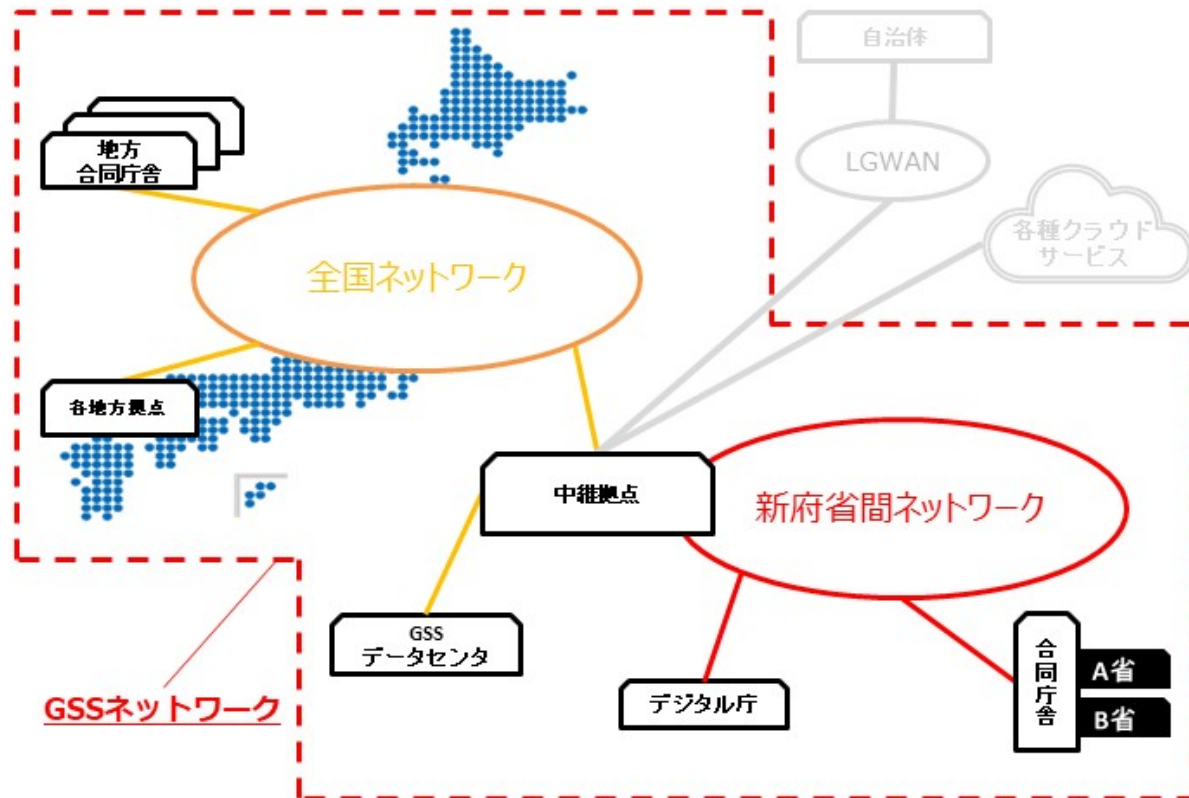
自社開発・VAD製品・SESでフッキングして顧客を開拓。VAD、自社開発の製品に限らず、お客様の要望に応じたIT製品を提案、各種サービスと共に提供。DX開発案件も展開していく。

ー ガバメントソリューションサービス（GSS）とは

資料出所：デジタル庁
有識者会議資料2024/5/29より

デジタル社会の実現に向け、行政機関の利用するデジタル基盤の高度化が必要となっている。

ガバメントソリューションサービス（GSS）では、その中の重要な要素である、政府の共通基盤となる、柔軟で合理的なネットワークの構築と運用を行う。



「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（閣議決定）の記載事項の概要

【ネットワーク面】

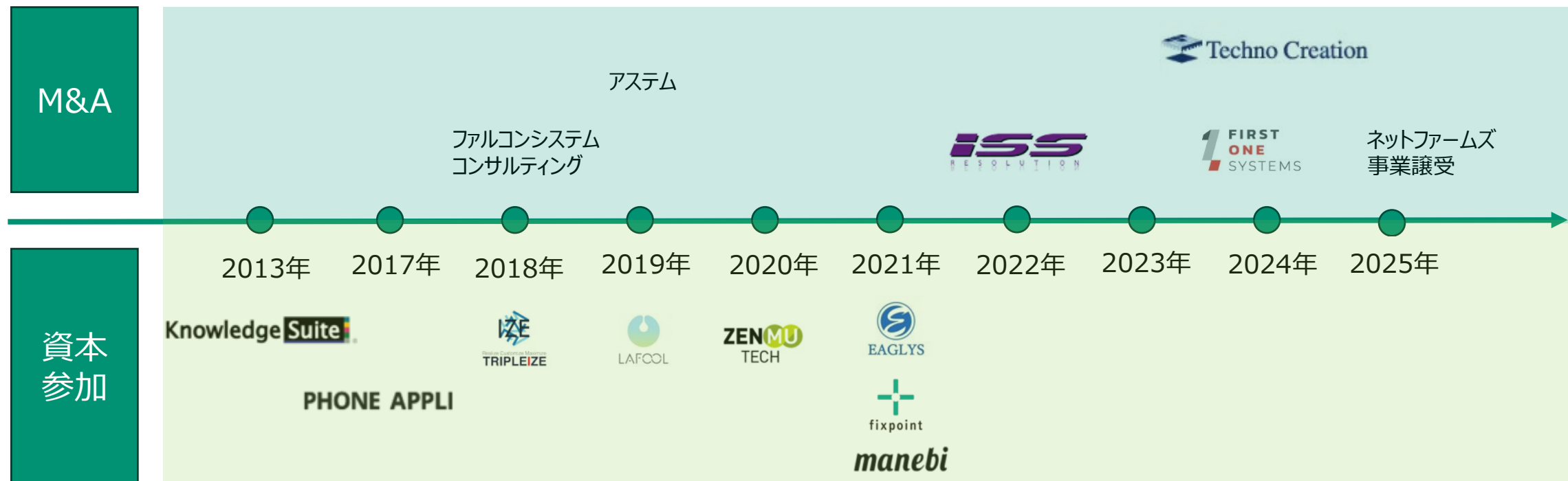
- ✓ 現在利用する「政府共通ネットワーク」は廃止し、新たな府省間ネットワークを構築、運用
- ✓ 国と地方支分部局等との接続に際して、整備が完了した独自の回線網（全国広域ネットワーク）の利用、運用を開始する。

【業務実施環境面】

- ✓ 政府共通の標準的な業務実施環境を提供
各府省庁はネットワーク更改を契機にこの環境に統合

■ 今後も、人材の確保および商圏の拡大を目的としたM&Aを検討していく

- 開発・構築等に関わる技術者の確保を最重要課題と認識
- 国内、ASEANを中心にセキュリティサービス事業、ITソリューション事業、SEサービス事業を展開する企業を中心にM&Aを実施
- 引き続き、技術者を保有する企業を対象にM&Aを適宜実施しながら継続的な成長を企図



#	企業名	時期	概要
1	ファルコンシステム コンサルティング	2018年4月	ファルコンシステムコンサルティングは、認証に特化したセキュリティ製品の開発・販売を実施。グループの開発体制を強化し、独自性を意識した新たな機能、製品の開発を加速
2	アステム	2019年3月	アステムは、コンピューターネットワーク機器、OA機器販売・調整を九州・中国地区で展開。セグエグループは福岡地区を強化する方針で、グループ基盤拡大に資すると判断
3		2022年12月	タイのセキュリティ・ITインフラ製品販売、メンテナンスサービス会社のISS Resolutionを買収。これにより、セグエグループは海外進出を図り、ASEAN市場での事業展開を進める
4		2024年5月	タイでネットワークインテグレーション事業、ネットワークセキュリティ事業、データセンター向けインテグレーション事業を展開するFirst One Systemsを買収。セグエグループは海外進出の加速、ビジネスシナジーの創出を図る
5		2024年6月	テクノクリエイションは、システムインテグレーションおよびシステム開発事業を行う。セグエグループのシステムインテグレーション事業の強化とサイバーセキュリティ分野での価値向上を狙いとして買収。
6	ネットファームズ	2025年9月	ネットファームズが展開するマルチベンダー環境下でのネットワーク・インテグレーション事業を取り込むことで、顧客基盤を一層強化する狙いから買収（事業譲渡）

資本参加実績

#	企業名	時期	概要
1	 ナレッジスイート	2013年2月	クラウドサービス提供企業であり、特に中小企業向けにSFA（営業支援）、CRM（顧客管理）、グループウェアの機能を統合したユーザ数無制限のクラウド型ビジネスアプリケーション「Knowledge Suite」の開発・提供を主軸事業とする他、ITエンジニアの派遣も手掛ける企業である。
2	 PHONE APPLI	2017年10月	企業のウェルビーイング経営とコミュニケーションの変革を支援するアプリケーション・サービス提供企業。主な事業内容は、企業の業務効率化と組織強化を促進するクラウドサービスの企画・開発・販売であり、社内外の情報やツールを一括管理し、コラボレーションを活性化させるサービス**「PHONE APPLI PEOPLE」が主力製品
3	 トリプルアイズ	2018年9月	人工知能（AI）を核としたシステム開発とソリューション提供が主たる事業。具体的には、AI技術を用いたプロダクト開発や受託開発を主力とし、AI囲碁の開発で培った技術を応用↓画像解析や物体認証など、先端技術の事業化も推進また、AI関連事業に加え、ITエンジニアの派遣や、技術支援も展開。
4	 ラフル	2019年1月	働く人の心身の健康をサポートするウェルビーイング企業。主な事業として、法人向けのウェルビーイングサービスの企画「、開発、および運営を行っており、組織課題の可視化を実現するクラウドサービス「ラフルサーベイ」を主力製品としている。
5	 Zenmu Tech	2020年12月	データを秘密分散技術で、複数の無意味なデータに分解・分散し、安全なデータ利活用を実現するサイバーセキュリティ企業。主な事業は、この秘密分散技術を応用したデータレスPCやセキュアなデータ連携などのプロダクト開発とソリューション提供。
6	 EAGLYS	2021年2月	データを暗号化したまま解析・利活用を可能にする秘密計算技術の中核とするデータセキュリティ企業。主な事業は、この秘密技術を用いたクラウドサービスやソフトウェアの企画・開発・販売であり、特にデータプライバシー保護とデータ連携の分野でのソリューション提供。
7	 フィックスポイント	2021年9月	システム運用自動化に特化したソリューション・サービス提供企業。主力事業は、運用自動化プラットフォーム「Kompiraシリーズ」の開発・提供であり、特にアラート判断業務やエスカレーション電話などの運用業務自動化を推進。
8	 manebi	2021年11月	オンライン研修・教育サービスを提供するEdTech企業。主な事業は、企業向けに4,500を超える講座を提供するクラウド型オンライン研修サービス「manebi e-learning」の企画・開発・運営であり、従業員のスキルアップとコンプライアンス教育を支援。

（参考） 2025年12月期 お知らせ一覧(1/3)

発表日付	タイトル
2025/1/17	セグエグループのセグエセキュリティ、エンドポイントセキュリティとデータ保護をセットで提供するマネージドEDRサービスの提供を開始
2025/1/23	当社スポンサードリサーチレポート発行について
2025/2/5	当社グループでサイバーセキュリティ事業を担うセグエセキュリティのホームページをリニューアルいたしました
2025/2/13	プライム市場上場維持基準への適合に関するお知らせ
2025/2/13	株主優待制度の変更に関するお知らせ
2025/2/13	取締役に対する株式報酬型ストック・オプション（新株予約権）発行に関するお知らせ
2025/2/13	業績予想と実績値との差異に関するお知らせ
2025/2/20	定款の一部変更に関するお知らせ
2025/2/20	剰余金の配当に関するお知らせ
2025/2/25	セグエグループの資本業務提携先であるZenmuTechが東京証券取引所グロース市場への上場承認を取得
2025/2/28	ストックオプション（新株予約権）の内容確定に関するお知らせ
2025/3/3	スポンサードリサーチレポート（2024年12月期決算フォローアップ）発行に関するお知らせ
2025/3/12	独立役員届出書
2025/3/27	セグエグループの資本業務提携先であるZenmuTechが東京証券取引所グロース市場に新規上場
2025/4/3	自社開発製品RevoWorks ZONE販売開始に関するお知らせ
2025/4/23	セグエセキュリティがアジア初のアクロニスMSSP認定を取得

（参考） 2025年12月期 お知らせ一覧(2/3)

発表日付	タイトル
2025/5/28	スポンサードリサーチレポート発行に関するお知らせ（2025年12月期Q1決算フォローアップ）
2025/6/24	完全子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ
2025/6/27	法定事前開示書類（合併）（ジェイズ・ソリューション株式会社）
2025/6/27	IRスモールミーティング（機関投資家・アナリスト向け）資料
2025/7/11	ジェイズ・コミュニケーションがジュニパーネットワークスより「Japan Partner Driven Distributor of the Year 2024」を受賞
2025/8/13	通期連結業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ
2025/8/15	法定事後開示書類（合併）（ジェイズ・ソリューション株式会社）
2025/8/20	当社連結子会社による事業譲受に関するお知らせ
2025/8/26	2025年12月期 第2四半期決算説明会 ログミーFinance書き起こし記事公開のお知らせ
2025/9/24	ジェイズ・コミュニケーションによる金融機関のセキュリティ移行に関する調査結果に関して
2025/9/24	スポンサードリサーチレポート発行に関するお知らせ（2025年12月期Q2決算フォローアップ）
2025/9/24	投資有価証券の一部売却に関するお知らせ
2025/10/1	セグエセキュリティ株式会社 代表取締役社長 子川英昭が「サイバーセキュリティセミナー沖縄 in ResorTech EXPO 2025」に登壇
2025/10/7	国産発、秘密分散技術を搭載した次世代ファイル共有システム「RevoWorks ZENMU-Storage」の提供に関するお知らせ
2025/10/21	株式会社フィスコより企業調査レポートが配信されました
2025/10/22	サプライチェーンリスク管理の「Black Kiteプラットフォーム」の取扱いを開始

（参考） 2025年12月期 お知らせ一覧(3/3)

発表日付	タイトル
2025/11/13	ジェイズ・コミュニケーションがラッカスネットワークスより「Distributor of the Year 2024」を受賞
2025/11/13	セグエグループ従業員持株会会員に対する特別奨励金支給に関するお知らせ
2025/11/13	2025年12月期第3四半期決算補足説明資料
2025/11/21	連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ
2025/11/27	株主優待制度の一部変更に関するお知らせ
2025/12/8	ジェイズ・コミュニケーションの代表取締役の異動に関するお知らせ
2025/12/11	Extreme Networks「FY26 Diamond Elite Partner」認定のお知らせ
2025/12/15	ジェイズ・コミュニケーションがFortraより「Long-standing Excellence Partnership」を受賞
2025/12/19	スポンサードリサーチレポート発行に関するお知らせ（2025年12月期Q3決算フォローアップ）
2026/1/23	株主優待制度の変更に関するお知らせ（2026年12月期以降）
2026/1/23	新株式発行及び株式売出しに関するお知らせ
2026/1/23	2025年12月期の連結業績予想の修正(上方修正) および 中期経営計画(2026年12月期)の数値目標変更（上方修正）に関するお知らせ
2026/2/2	発行価格及び売出価格等の決定に関するお知らせ
2026/2/2	発行価格等の決定に関するお知らせ（金融商品取引法第15条第5項に基づく公表文）

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先

セグエグループ株式会社 経営企画部 IR担当

<https://segue-g.jp/ir/contact/>